



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月9日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9941 URL http://www.taiyo-bussan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏原 滋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部ジェネラル マネージャー (氏名) 宮内 敏雄 TEL 03-5333-8080
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	5,363	5.1	42	△37.3	21	△69.1	18	△72.7
29年9月期第1四半期	5,100	△6.5	67	—	69	—	66	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	13.70	—
29年9月期第1四半期	50.23	—

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として普通株式について10株を1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	11,570	289	2.4	217.85
29年9月期	12,014	298	2.4	225.03

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 289百万円 29年9月期 298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	△1.3	260	△35.2	160	△52.5	130	△56.8	97.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期1Q	1,328,219 株	29年9月期	1,328,219 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年9月期1Q	665 株	29年9月期	627 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年9月期1Q	1,327,575 株	29年9月期1Q	1,327,592 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を行っており、これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、新興国を含む世界経済全体の景気が緩やかに回復している環境にあり、国内企業の業況等は好調を維持し、国内消費も持ち直し、穏やかな回復が継続するなかで第1四半期累計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要商材である牛肉につきましては、年末商戦に向けて外食産業向けに積極的に販売してきたものの、畜肉調製品の販売が低調に推移したことから、取扱数量・売上高とも減少しました。鶏肉につきましては、ブラジルからの輸入量が増加し、国内相場が弱含みになる中で営業努力に努めた結果、取扱数量は減少したものの売上高は増加しました。加工食品につきましては、タイ産を中心に外食産業向けに堅調に推移し取扱数量・売上高とも増加しました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は53億63百万円(前年同四半期累計期間比 5.1%増)、営業利益42百万円(前年同四半期累計期間比 37.3%減)、経常利益21百万円(前年同四半期累計期間比 69.1%減)、四半期純利益18百万円(前年同四半期累計期間比 72.7%減)となりました。

(食料1部)

牛肉につきましては、年末商戦に向けて外食産業向けに積極的に販売し、取扱数量・売上高とも増加いたしました。が、ハム・ソーセージの原材料となる畜肉調製品につきましては、メーカー向け販売が低調に推移したことから、取扱数量・売上高とも減少いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間での売上高は、12億円(前年同四半期累計期間比 8.7%減)となりました。

(食料2部)

鶏肉につきましては、ブラジルからの輸入量増加が国内販売価格を下押しし、相場が下落したことで取扱数量は減少したものの、先物契約価格の商品を納入・販売できたことで売上高は増加となりました。

この結果、当第1四半期累計期間での売上高は、17億93百万円(前年同四半期累計期間比 21.4%増)となりました。

(総合食品部)

畜肉等の加工食品につきましては、タイ産加工食品の外食産業向けは堅調に推移し、取扱数量・売上高とも増加し、中国産加工食品につきましては風評も収まり、好転してきたことから、加工食品全体としては取扱数量・売上高とも増加いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間での売上高は、8億95百万円(前年同四半期累計期間比 23.2%増)となりました。

(営業開拓部)

中国向け車輛部品・エンジンにつきましては、日本製としての信頼は厚く、根強い需要があることから順調に引き合いがあり、取扱数量・売上高とも増加しました。農産品につきましては、緑豆等の販売は順調に推移しましたが、大豆価格が低迷したことから取扱数量・売上高とも減少しました。玄蕎麦につきましては、顧客であるメーカーの生産が低調に推移したことから取扱数量・売上高とも減少しました。化学品につきましては、販路も安定し、仕入先との連携も良好に機能し、韓国向けスマートフォン用塗料の販売に参入できたことから、取扱数量・売上高とも順調に推移しました。

この結果、当第1四半期累計期間での売上高は、9億98百万円(前年同四半期累計期間比 18.9%増)となりました。

(生活産業部)

豚肉及び加工食品につきましては、加工食品ではコンビニ向けの韓国産のフランクフルトソーセージやメキシコ産のスライスカット豚肉等の販売は順調に推移したものの、スペイン産豚肉の輸入につきましては、価格等を考慮し、年末時の通関・陸揚作業等を回避するため現地からの船積を控えたことから、取扱数量・売上高とも減少しました。

この結果、当第1四半期累計期間での売上高は、4億75百万円(前年同四半期累計期間比 35.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間末の資産につきましては、現金及び預金の増加があったものの、売掛債権及び商品の減少に伴い、前事業年度末に比べ4億44百万円減少し、115億70百万円となりました。

負債につきましては、借入金の減少等により前事業年度末に比べ4億34百万円減少し、112億81百万円となりました。

純資産につきましては、当四半期純利益の計上及び為替予約の時価評価益の減少等により前事業年度末に比べ9百万円減少し2億89百万円となりました。自己資本比率は2.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月14日公表の「平成29年9月期 決算短信[日本基準](非連結)」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,175,029	3,324,647
受取手形及び売掛金	4,548,265	4,065,645
商品及び製品	4,195,873	3,226,779
その他	426,979	289,593
貸倒引当金	△3,377	△2,549
流動資産合計	11,342,769	10,904,116
固定資産		
有形固定資産	293,014	290,120
無形固定資産	18,789	23,271
投資その他の資産		
その他	360,376	352,986
投資その他の資産合計	360,376	352,986
固定資産合計	672,179	666,378
資産合計	12,014,949	11,570,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,853,872	1,877,747
短期借入金	8,647,619	8,528,432
未払費用	640,633	379,040
その他	379,586	299,646
流動負債合計	11,521,713	11,084,867
固定負債		
退職給付引当金	142,431	145,420
その他	52,047	50,994
固定負債合計	194,479	196,415
負債合計	11,716,192	11,281,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,975	1,344,975
資本剰余金	1,306,916	1,306,916
利益剰余金	△2,383,657	△2,365,458
自己株式	△852	△889
株主資本合計	267,382	285,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	135	135
繰延ヘッジ損益	31,238	3,533
評価・換算差額等合計	31,374	3,669
純資産合計	298,756	289,212
負債純資産合計	12,014,949	11,570,495

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,100,816	5,363,435
売上原価	4,843,470	5,159,927
売上総利益	257,345	203,508
販売費及び一般管理費	190,050	161,347
営業利益	67,295	42,160
営業外収益		
受取利息	1,000	—
為替差益	19,452	7
受取賃貸料	2,902	2,844
その他	5,225	923
営業外収益合計	28,581	3,775
営業外費用		
支払利息	21,327	21,644
その他	5,377	2,961
営業外費用合計	26,704	24,605
経常利益	69,171	21,330
税引前四半期純利益	69,171	21,330
法人税、住民税及び事業税	4,566	3,696
法人税等調整額	△2,082	△563
法人税等合計	2,484	3,132
四半期純利益	66,687	18,198

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	1,315,440	1,476,778	726,053	839,487	743,058	—	5,100,816
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,315,440	1,476,778	726,053	839,487	743,058	—	5,100,816
セグメント利益又は 損失(△)	61,055	39,393	19,367	10,518	△6,600	△56,439	67,295

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△56,439千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食料1部	食料2部	総合食品部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	1,200,048	1,793,690	895,150	998,754	475,792	—	5,363,435
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,200,048	1,793,690	895,150	998,754	475,792	—	5,363,435
セグメント利益又は 損失(△)	51,027	△15,576	47,611	22,701	△5,899	△57,703	42,160

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,703千円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。